

Z-5: ランチョンセミナー

シュプリング・ネイチャー

開催日時・会場 9月4日(水曜日) 12:20-13:20 B101(1階)

共同研究における 効果的なコラボレーションスキルの習得と支援

データ量の増加に伴い科学における計算機的手法の比重が高まり、研究者には、異なる分野・専門の研究者と協力して複雑な科学的問題に答え、社会や環境における大きな課題を解決することが求められています。コラボレーションの成功には、ビッグデータ・マネジメント、タイムマネジメント、プロジェクトマネジメント、文化や学問的領域の違いを超えたコミュニケーション、利害関係者の管理といった複雑かつ多くのスキルと、さまざまな規制に関する明確な理解が必要です。そのため、協力関係を形成して培い、問題を予測し、データの収集を構造化し、その公開を確実にするためにはどうしたらよいかを理解し、必要なスキルを身に付けるための効果的なトレーニングが、ますます重要になっています。こういった背景から、Nature Masterclassesは今年9月に「Effective Collaboration in Research」のモジュールを発表する予定です。今回のセッションでは一般公開に先立って、新モジュールの解説とコースの紹介、開発に至った背景と調査についてご説明します。

オーガナイザー

守随愛子: シュプリング・ネイチャー

Researcher and Consumer Services Marketing Manager,
Marketing - Technology & Sales Operation

SPRINGER NATURE

講演者

Jeffrey Robens: シュプリングー・ネイチャー
Editorial Development Manager,
Researcher and Conference Services



ペンシルベニア大学でPhD取得後、シンガポールおよび日本の研究所や大学に勤務。自然科学分野で多数の論文発表と受賞の経験を持つ研究者でもある。学术界での20年にわたる経験を生かし、研究者を対象に論文の質の向上や、研究のインパクトを最大にするノウハウを提供することを目的とした「Nature Research Academies」ワークショップを世界各国で開催している。ネイチャー・リサーチ唯一の日本語刊行物 Nature ダイジェストで連載している。

下山 恵里: シュプリングー・ネイチャー
Senior Institutional Partnerships Executive,
Institutional Partnerships



2018年Springer Nature入社。アジア太平洋地域Nature Masterclassesのオンライン版専属営業担当を経て、現在は教育機関・行政機関を対象としたサービス全般を担当している。教育や研究の現場で今必要とされているトレーニングの最新トレンドに精通し、また東南アジア地域の大学や研究機関に初めてNature Masterclasses オンライン版を導入した経験を持つ。